



菊陽町議会議員

/活動報告/

大久保あきら通信

2016.11 No.5

大久保あきら後援会事務所

〒869-1108 菊池郡菊陽町光の森6丁目19-5(有限会社大輝不動産内) TEL096-233-1237

8月臨時議会、9月定例議会、10月臨時議会が開催されました

9月定例議会のポイント

9月定例議会では、平成27年度の歳入歳出決算の認定についてが主な項目となりました。

●平成27年度 菊陽町一般会計歳入歳出決算の認定について

歳入142億8,738万2,483円

歳出134億9,959万5,484円

差引残高 7億8,778万6,999円

このうち1億6,823万7,000円が翌年度へ繰越する財源となるため、実質収支額は6億1,954万9,999の黒字となっています。

平成27年度の普通会計(一般会計と土地取得特別会計)の歳入構成としては、

自主財源 8,183,077千円 構成比57.3%

依存財源 6,104,460千円 構成比42.7%

となっており、自主財源の比率が増加しており、県内市町村及び全国平均と比べても自主財源の割合は高い状況にあります。

平成27年度の一般会計・特別会計歳入歳出決算において、実質収支は全て黒字(土地取得特別会計は収支同額)であり、財政運営に問題はないと思われます。

しかし、これは平成27年度の決算であり、今年発生した熊本地震、その後の豪雨による被災対応、復旧・復興には、多額の支出が想定されます。

●9月議会では、各常任委員会に付託された議案についての新たな取組がなされました

議会では、議案のすべてを本会議で議論すると時間がかかりすぎ、細かな内容までの議論が出来ない等の理由で、いくつかの委員会に振り分けて議論されます。

菊陽町議会では、総務常任委員会・産業建設常任委員会・文教厚生常任委員会と3つの常任委員会があり、私は現在、文教厚生常任委員会に属しています。

私は今回の平成27年度決算に関する議案では、文教厚生常任委員会に属する事項の内容についてのみ、委員会にて報告・質疑等そして採決を行いました。

このように3委員会に付託されると、その部分については深く審議出来ますが、他の委員会に付託された事項については本会議でしか質問が出来ず、また質問の相手もその委員会の委員長となるため、質問したことが委員会で議論されていなければ質問に対する返答も不明瞭になる可能性があります。

9月の定例議会では、各議員が属する常任委員会以外の委員会に対して、各委員会の開催前にあらかじめ質問を行い、委員会が終了する前に全員での会議を行い、質問に対する返答を聞くなどして全議員で共有するという取り組みがなされました。

私も、産業建設常任委員会に属する事項である、下水道事業会計利益の処分及び決算の認定についての質問をすることが出来ました。

質問内容は、決算の中身に関する事項でしたが、委員長より委員会で質問していただき、わかりやすく回答いただくことで、私もこの件に関する理解が深まりました。

このような取り組みが今後も継続して行われていくと思いますので、私も今後の予算・決算について、他常任委員会に属する事項についても今まで以上にしっかりと目を通してチェックしていきます。

8月臨時議会のポイント

8月臨時議会は主に、平成28年度一般会計補正予算と菊陽北小学校校舎増築工事の工事請負締結について審議されました。

●平成28年度一般会計補正予算

歳入歳出にそれぞれ5億6,250万2千円を追加。その殆どが、災害復旧に係るものです。

●工事請負契約の締結について

今後、菊陽北小学校校区内の生徒数が増加の見込みであり、教室数が足りなくなることから、校舎の増築工事を行う。

工事にあたり、指名競争入札により町内6業者の中から最も安い金額で入札した業者が落札。請負契約を締結するために議会の議決を求めるもの。

予定価格に対する落札率(落札価格／予定価格)は、97.99%

●8月臨時議会後、平成28年熊本地震災害復興支援特別委員会が開催されました

今回の特別委員会は、商工業者の被害状況について、菊陽町商工会・三里木繁栄会・夢街光の森



会・菊陽町商工振興協同組合・菊陽町建築業組合の会長よりお話を伺いました。

また、熊本地震からの復旧・復興に向けた取り組みについて、菊陽町土木建設業協会の会長より、現状と今後についてのお話を伺いました。

被害状況は様々ですが、建物等、外観上は目に見えるような被害がなくても、事務所内や店舗内等、目に見えないところで大きな被害を被っている商工業者も多くいらっしゃるということでした。

行政と議会と一緒にになって復旧・復興に向けた取り組みについての要望がありました。

10月臨時議会のポイント

10月臨時議会では、飲酒運転の撲滅に関する条例の制定、一般会計補正予算、菊陽町教育委員会委員の任命の3点でした。

●菊陽町飲酒運転撲滅に関する条例の制定について

この条例制定は、町民の方々からの政策提案により条例制定となったもので、菊陽町では初めてのことです。

8月には政策提案が受理されており、町民参画推進本部会議において提案採用が決定され、条例素案策定、パブリックコメント手続き実施、意見交換会が行われ、10月の臨時議会にて審議され、全員賛成により可決されました。

●一般会計補正予算歳入歳出にそれぞれ1億1,393万円を追加。そのうち9,400万円が、損壊家屋解体撤去負担金です。

○10月19日～21日 熊本地震災害復興支援特別委員会による



東松島市役所でお話を伺っているところです。

研修の目的は、震災から半年が経ち、菊陽町の今後の復旧・復興への道のりをどのようにするべきか、5年前の東日本大震災から現在、復旧・復興の道のりをたどっている2市1町より学ぶことでした。

行程は、初日に熊本から仙台まで移動し、宮城県白石市にて研修、2日目に宮城県利府町・東松島市にて研修、その後東京へ移動。2日目まではかなりの強行スケジュールです。

最終日は、厚生労働省への陳情を行わせて頂きました。今回の研修において、発災直後に関しては、自助・共

○政務活動費について

先日、富山市議会での政務活動費が問題となり多くの富山市議会議員が辞職するという事態が起こりました。また、富山市議会だけでなく、様々な地域で政務活動費に関する問題が取り沙汰されています。

そもそも政務活動費とは何なのでしょうか？政務活動費とは、「地方議会の議員が行う調査研究その他の活動に必要な経費の一部として支給される費用。平成24年の地方自治法改正により、それまでの政務調査費から名称が変更され、使途が拡大された（大辞泉より）」とあり、議員報酬以外に調査研究や政策立案等を行うにあたり必要な経費を公費でまかなうものです。

菊陽町議会では、平成27年度より年間24万円（月2万円。平成27年度は6月からのため年額20万円）を政務活動費として定められています。

今年6月に発行された「菊陽町議会だより」第88号において、菊陽町議会議員全員の平成27年度政務活動費の利用額等一覧が掲載されました。

●支出0円

私の、平成27年度政務活動費は支出0円であり、20万円は全額返金させていただきました。

支出0円のため、一部の方から「何も勉強していないのか？」という声もいただきましたので、今回政務活動費に関する私の考えをここに記したいと思います。

私が議員として初当選させていただいた昨年春には、既に地方議会における「政務活動費」の問題というものが世間に広く認知されていたと思います。

私も、様々なニュースで政務活動費というもの的存在を知った一人ですが、その時の感想はニュースの内容が不正な利用であったため、なんとなく“よろしくない”というものでした。

当選後、菊陽町議会でも政務活動費があると聞き、説明を受けると、領収証の添付や使用した事項についての詳細な報告書の提出があるなど、どう考へてもテレビ等で話題となったような不正な利用は出来ようもありません。

しかし、私は政務活動費を一切使用していません。

調査研究や政策立案の勉強をすることは、イコール政務活動費を利用することではないと思っています。

私は新人もありますので、まずは足元から思い、近隣の合志市議会や大津町議会の傍聴に出かけています。

それだけでも、菊陽町との違いがあり参考になりますし、そうして傍聴に行くと他市町の議員の方とお話しをする機会も増え、そこから他市町の議会や行政の取り組みも知ることができます。

私は地方議員として、まずは身近な市町村の良いところや参考になることがあればそれを取り入れる工夫をすることが必要だと思います。この行動には費用は必要ありません。

また、菊陽町議会として様々な研修にも参加させていただく機会があり、近隣市町村のことだけでなく、大局的な観点からの学びもありますので、現時点においては、政務活動費の使用を考えていません。

視察研修で宮城県へ行ってきました

助が大切であり、そのための備えをすぐにでも進めていく必要があると感じました。また、地震発生から数年後にライフラインに支障をきたすケースもあり、今後起こりうる様々な問題を想定して行かなければならぬことを知りました。

訪問させていただいた2市1町に共通しているのは、首長の強いリーダーシップのもとに復興計画が進められているということ。私の立場は、そういう姿勢をしっかりと支援していくことだと感じました。



津波で流されてしまった野蒜駅。

活動記録

- 8月6日 菊陽町夏祭り 商工会青年部部員としてフライドポテトを揚げていました①
- 8月8日 平成28年 第2回臨時議会 熊本地震災害復興支援特別委員会
- 8月12日 議員連絡会
議員研修
講演「国の財政の現状及び熊本地震災害への財政支援」
講師:財務省 九州財務局 理財部次長 平嶋 淳一 氏
- 9月1日 大津菊陽水道企業団 議会
- 9月2日~9月13日 平成28年第3回定例議会
- 9月12日 熊本地震災害復興支援特別委員会
- 9月27日 議会広報委員会
- 9月29日 金婚夫婦表彰式典へ出席
- 10月2日 武蔵ヶ丘第一保育園運動会へ出席
菊陽町婦人会との交流会「夕べのつどい」へ出席
- 10月4日 立野ダム説明会・現地調査②③
- 10月6日 議会広報委員会
- 10月8日 光の森 秋祭りへ参加④は紙灯籠の点灯式後の様子。
- 10月13日 町村議員研修会
講演「地方議会の課題と活性化策 -地方創生と地方議会の役割-」
講師:読売新聞東京本社編集局企画委員 青山 彰久氏
講演「熊本県の認知症対策について」
講師:熊本県認知症対策・地域ケア推進課 課長 松尾 俊司氏
- 10月18日 全員協議会
- 10月19日~21日 熊本地震災害復興支援特別委員会視察研修
- 10月24日 平成28年 第3回 臨時議会
区長会との意見交換会
- 10月25日 議会広報委員会
- 10月30日 三里木町民センター発表会
陽かりの郷秋祭りへ出席



大久保あきら プロフィール

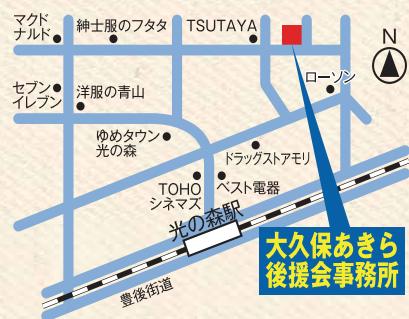
- 昭和50年(1975年)7月2日生まれ
- 平成6年 熊本工業高等学校 情報システム科卒業
- 平成27年4月菊陽町議会議員に初当選
- 文教厚生常任委員 議会活性化推進委員 広報委員 大津菊陽水道企業団議員
- 有限会社大輝不動産 代表取締役(平成16年設立)
- 家族／妻・長女・長男・母の5人暮らし。光の森1丁目に居住。

大久保あきらの活動の一つとして、「大久保あきら通信」を発行させていただいている。皆様へ議会のことを少しでも発信できるように頑張って取り組んでまいりたいと思っております。どうぞ、宜しくお願い申し上げます。皆様のご意見やご要望等もいただければ幸いです。

〒869-1108 菊池郡菊陽町光の森6丁目19-5(有限会社大輝不動産内)

096-233-1237

■ご意見・ご要望等は後援会事務所、電話またはこちらまで→E-mail／ohkubo@daiki-f.co.jp



○お気軽にお立ち寄りください。